

620	目を疑う め うたが	意外すぎるものを見て、にわかには信じられず見間違いではないかと思ってしまう。
619	目もくれない め	何の興味も示さず、見向きもしない。
618	目も当てられない め あ	あまりにも悲惨な状態で、見るに堪えない。
617	目星を付ける め ぼし	見当や見通しをつける。目標を決める。
616	目の前が真っ暗になる め まえ	絶望的になり、どうすればいいのかわからなくなる。
615	目の毒 め どく	見ると欲しくなってしまうたり、害になったりするので、見ないほうがいい物。
614	目の敵にする め かたき	誰かのことをやたらと嫌い、敵視する。
613	目の色を変える め いろ	何かに怒ったり、驚いたり、熱中したりして、目つきが変わる様子。
612	目にも留まらぬ め と	はつきりと確認することができないくらい、動きが素早い様子。
611	目に留まる め と	いくつもあるもののなかで、特に注意をひきつける。
610	目に浮かぶ め う	目の前にはない様子や姿を、実際に見ているかのように思い浮かべることができる。
609	目に入れても痛くない め いた	子どもや孫などがかわいくてたまらない。
608	目に余る め あま	物事の程度がひどすぎて、無視できない。
607	目と鼻の先 め はな	二つの場所の距離がとても近い様子。
606	めどが付く め ど	物事を実現させるための見通しがはつきりする。
605	目白押し め しろお	人や物がたくさん混みあつて並んだり、集中して物事がある。
604	目くじらを立てる め た	ささいなことで他人を責めること。
603	目から火が出る め ひ	頭を強くぶつけた時などに、一瞬目の前で光が飛び交うように感じる事。
602	目から鼻へ抜ける め はな	抜け目がなく、判断がすばやい。賢くて、利口なさま。
601	目から鱗が落ちる め うろこ	あるきっかけで、それまでわからなかった物事が急に理解できるようになる。